

カウンターパート分会(協組)		《道南分会》		《札幌分会》		《小樽地区分会》		《室蘭分会》		《苫小牧分会》		《釧路分会》		《北見地方分会》		《十勝地方分会》		《旭川地方分会》			
学校名(9校)		函館		札幌		小樽未来創造		室蘭		苫小牧		釧路		北見		帯広		旭川			
学科(17)		環境土木	建築	土木	建築	建設システム	定時制 電気建築	建設	土木	建築	土木	建築	土木	建設	環境土木	建築	土木	建築	定時制建築・土木		
担当教諭		名古屋大輔		川村茂		荒木 斉			齊藤圭祐		山崎直哉		佐々木 秀徳		岡本 博		笠木 元太				
電話		0138512271		011-727-3341		0134-23-6105			0144-36-3161		0154-41-1285		0157-36-5524		0155-48-5650		0166-65-4115				
				↑ コンクリート甲子園(予選7回、本選5回)				*コンクリート甲子園(予選2回)				↑ コンクリート甲子園(予選6回、本選3回)									
【設問1】 授業や実習		回答数																			
教科書に基づく座学のみ		1																			
生コンの練り混ぜ実習あり		10																			
圧縮試験の実施あり		8																			
コンクリート構造物製作の実習あり		1																			
実施していない		0																			
【設問2】 授業・実習が限定的な理由		回答数																			
ミキサーや圧縮試験機等の設備が老朽化		3																			
材料(セメント・骨材など)の購入予算が不足		1																			
実習に伴う廃棄物処理費の確保が困難		3																			
教員の専門知識や技術指導に不安		1																			
授業カリキュラム上の制約		5																			
【設問3】 必要な支援		回答数						未回答		未回答		未回答				未回答		未回答		未回答	
材料費の補助(セメント、骨材等)		5																			
廃棄物処理費の補助		2																			
生コン工場での授業・体験学習の実施		5																			
出前授業(講師派遣)による授業支援		3																			
【設問4】 「甲子園」参加可能性		回答数																			
積極的に参加を検討したい		2																			
条件が整えば検討したい(必要な条件:		2																			
現状では難しい(理由:		7																			
		参加生徒がいないため		いつもご支援いただきありがとうございます		予算と指導時間の確保が難しい				必要な条件: 課外活動での参加となるため、興味のある生徒がいるかどうか		コンクリート甲子園参加に際して多大なご支援をいただいております。誠にありがとうございます。生徒の業界への興味、関心を高める目的の一つとして、今後も出来る限り参加するつもりでおります。どうぞよろしくお願いいたします。		建築科なので、コンクリートのみの授業を多く行う余裕がないです。		土木に関する多くの取り組みをしており、現状では新たな取り組みをするには時間と教員が不足しているため					

分会(協組)の対応状況	インターンシップを受け入れてきた道南試験所から甲子園出場を打診 → 来年度出場に前向き回答	●従前より出前授業、技術指導(コンクリート甲子園) ●卒業生の業界就職実績有り							学校と関係構築	学校に支援の申し出 → 甲子園出場に前向き回答	
-------------	---	--	--	--	--	--	--	--	---------	-------------------------	--

道工組／アクションプラン	◆簡易アンケートから見えてきたこと◆ ①生コンに関する授業・実習が限定的となっている可能性 ②理由は予算不足とカリキュラム上の制約(先生の負担増)か？ ③財政支援、先生の負担軽減となる支援があれば、生徒を惹きつける授業となる可能性→甲子園参加へ	【財政支援】 《生コン授業・実習に必要な経費の負担》 ☑ 材料費(セメント、骨材等)の補助(支給) ☑ 廃棄物処理費の補助 ☑ 生コン工場までの交通費(生コン工場で授業実施の場合) ↓ 学校側が求める支援内容が判明した場合、窓口となった分会(協組)から道工組事務局に対し支援可能か打診してもらう	【先生の負担軽減】 《技術指導(座学&実習)》 ☑ 生コン工場での授業・体験学習の実施 ☑ 出前授業(講師派遣)による授業支援 ↓ 窓口となった分会(協組)として対応可能か検討し、検討結果を道工組事務局に報告してもらう
	◆アクションプラン◆ ● まずは、分会(協組)が窓口となり学校と関係構築 ● コミュニケーションを通じ、学校側のニーズを引出し対応可能なものから実践		